

ICA-AP (国際協同組合同盟アジア・太平洋)

日本労協連総会・センター事業団総代会への
ICA-AP (ICA アジア・太平洋) からのメッセージ

2005年4月25日、ニューデリー

2005年6月2日と3日、日本労働者協同組合連合会第26回総会と、センター事業団第20回年次総会が開催され、重要な問題とりわけ介護に関わる労働者に影響を与える課題についてみなさん方が討議されることをお喜びいたします。私はICA アジア・太平洋を代表して、心からの祝辞を申し上げます。

ICA-APは、協同組合を発展させるという目的において、多様な活動やプログラムを通じ労働者協同組合の重要性に焦点を当てています。私たちは、特にアジア・太平洋地域の発展途上国でインフォーマル・セクターにおける労働者協同組合を促進するという共通の戦略で国際自由労連と共同し、緊密な関係を創ってきました。協同組合は雇用におけるグローバリゼーションの否定的なインパクトを和らげ、効果的な制度的枠組みの証明になるかもしれないと、ICAは信じています。

労働者協同組合を強化するための活動を、世界のこの分野で多様に展開することは、私たちの強い願いです。この努力を实らせるため、日本労協連のような成功を収めている組織からの支援は非常に重要です。私たちは、日本の労働者協同組合運動がICA アジア・太平洋でその支援活動を強め、アジア・太平洋地域における労働者協同組合を促進するためその活動を大きく広げるようお願いいたします。

総会において労働者協同組合の目的を促進するため、実現可能なガイドラインについて議論し結論が導きだされることを望んでいます。最後に日本労協連とセンター事業団の年次総会が大成功することを、心よりお祈り申し上げます。

ICA アジア・太平洋会長
シル・クワン・リー